



こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子 です

事務所 中延2-11-7 TEL3783-8833  
区議団控え室 (品川区役所内) TEL5742-6818

「月20万円は払えないよ！」

特養ホームの増設  
介護ベッドへの助成  
紙おむつの現金支給

# 介護の署名にご協力ください



## 介護の改善3つの署名

8月25日「品川の医療と介護を良くする会」が大井町駅前で、品川社会保険推進協議会が行っている介護保険の改善を求める署名に取り組みました。同日、荏原町スーパー大関前でも地域の方と行い、切実な声が寄せられています。署名は引き続き取り組みます。

② 介護ベッドの利用料・購入費の助成  
今回の署名は、① 特養ホームの増設

③ 紙オムツの入院時現金支給をの3項目です。

介護保険制度ができて7年、今介護保険はどうなっているでしょうか。保険料は年金から天引き、しかし、いざ介護が必要というときにサービスが受けられない制度へと変えられてきています。

特養ホームつくらずに月20万円ものケアホームばかりつくる品川区、「皆さん20万円払い続けることができますか」と訴えると、通りがかった方々が「払えない、払えない！」と声をかけていきました。

また、シルバーカーを押しながら署名をして下さった方は「週1回のヘルパーさんが9月末で切られるんです。2階にいる息子夫婦は夜遅くしか帰らないのに家族がいるからダメだって。86歳です。腕は骨折したし、足も不自由で掃除機もかけられないのに……。年寄りには早く死ねって言われている気がします」と訴えられました。

品川の介護の実態は裏面に。是非署名にご協力下さい。

# 品川区の介護保険の改善を求める請願署名にご協力ください

■■■ 次の3つの改善・充実を求めます

## ① 特別養護老人ホームの増設を

**年収80万円、要介護5の方の場合** (1ヶ月の利用料)

- 特養ホーム—6万2千円  
(全室個室ユニットケア)
- ケアホーム—29万5千円  
(ケアホーム西五反田の場合)

「1年前に脳梗塞で倒れた要介護5の88歳の母の起居を申し込んだが断られた。区からは90歳になれば可能性が高くなると言われた」など、驚くべき実態まで寄せられています。特養ホームの待機者は450人。「国民年金でも入れる特養ホームの増設を」は多くの区民の願いです。

ところが品川区は特養ホームを7年以上つくらず、今後もつくる計画がありません。一方、つくるのは利用料の高いケアホーム(有料老人ホーム)です。

88歳、要介護5でも入れない

四百億円もの基金ため込みを「健全財政」と自慢する品川区。介護保険でも基金は17億円余。高齢者一人当たりでは23区で1番のため込みです。

区民の世論と運動でぜひ増設させましょう。

### 財源はあります

品川区が特養ホームをつくらなかった7年余の間に20区で5500ベットの特養ホームが新たに建設されています。

### 20区が、64ヶ所、5515ベットを増設

品川区は23区で品川区だけです。西五反田につづいて、都南病院跡地や原小学校の跡地に計画しているのも、月17万〜20万円(1ヶ月の利用料)のケアホームです。



## ② 介護ベッドの利用料・購入費の助成を

■ 介護保険法が改悪されて、介護度の低い高齢者は介護ベットや車椅子などが利用できなくなり、全額自己負担でのレンタルか、購入するかしかなくなりました。23区で独自の助成制度がある区が10区、都の介護ベット購入助成制度は20区が活用しました。品川区には何の助成制度もありません。



## ③ 紙おむつの入院時現金支給を

■ 23区中21区が入院時の紙おむつに対する現金支給の制度があります(5千円〜1万円)。ないのは品川区と杉並区だけ。「入院するとほとんどが病院指定のおむつとなります。おむつ代だけでも大変です。現金支給してほしい」と切実です。

■ 在宅での要介護者への紙おむつ支給枚数も、品川区は月3000円相当で最低です。



日本共産党

無料

法律・生活相談会

9月27日(木)

午後6:30~

鈴木ひろ子事務所

中延2-11-7  
TEL.3783-8833